

2 女性活躍推進及び働き方の意識について

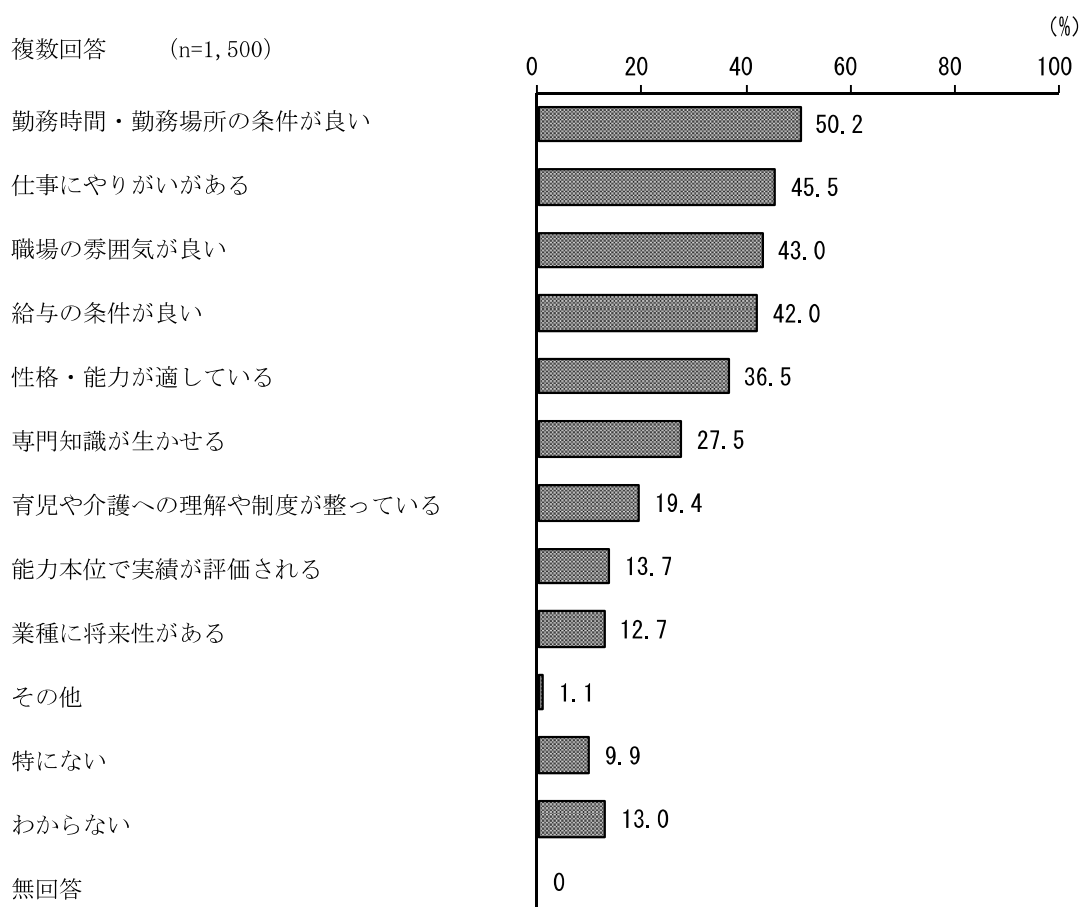
2-1 仕事を選ぶ際に重視すること

◎「勤務時間・勤務場所の条件が良い」が50.2%

Q10. あなたが仕事を選ぶ際に、重視すること、または、したいことは何ですか。

※現在就業していない方も、過去に働いていた時や、今後働く場合を想定してお答えください。

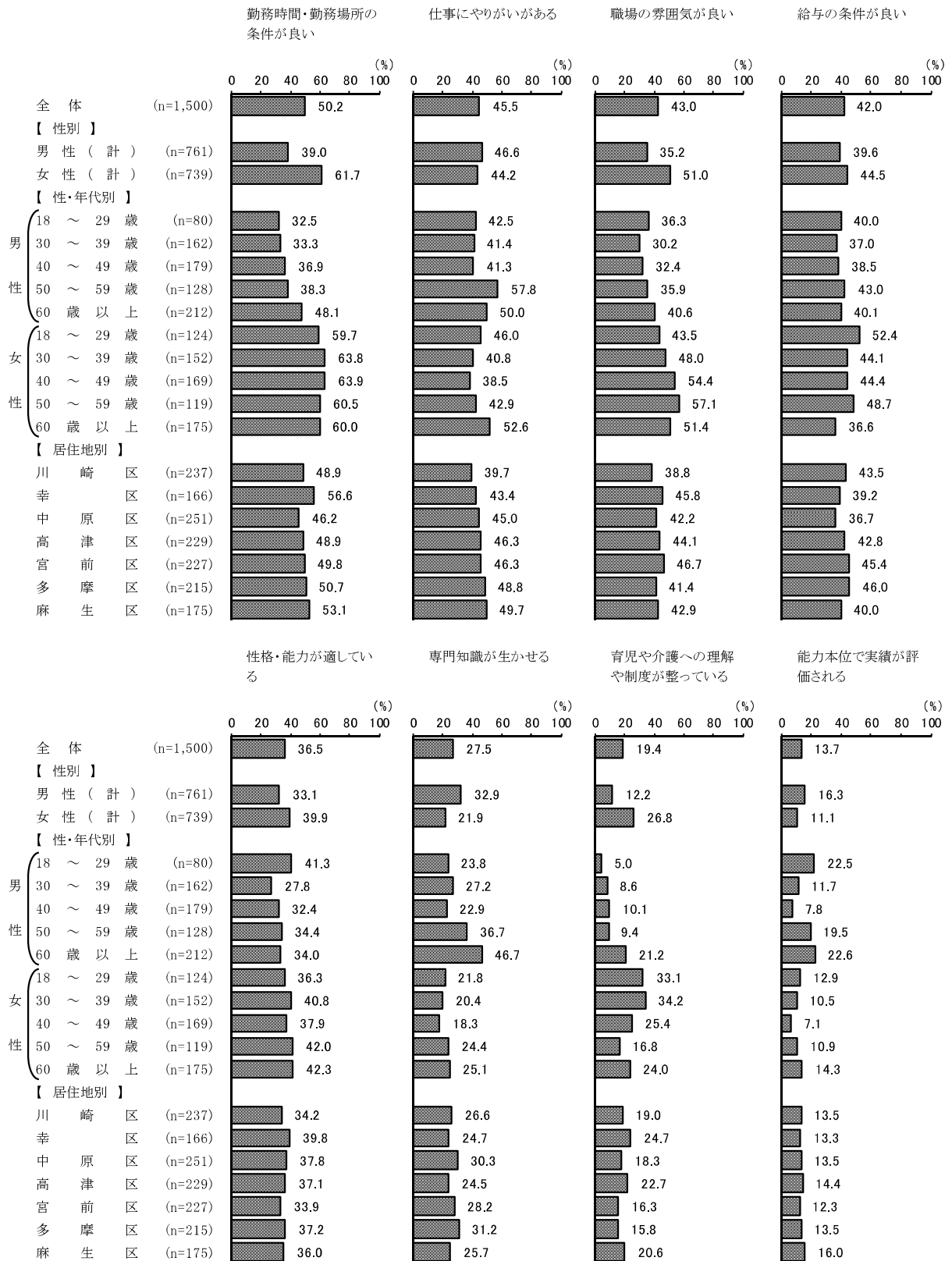
図表2-1 仕事を選ぶ際に重視すること



仕事を選ぶ際に重視することは、「勤務時間・勤務場所の条件が良い」(50.2%)が最も高い。次いで、「仕事にやりがいがある」(45.5%)、「職場の雰囲気が良い」(43.0%)、「給与の条件が良い」(42.0%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-2 仕事を選ぶ際に重視すること(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



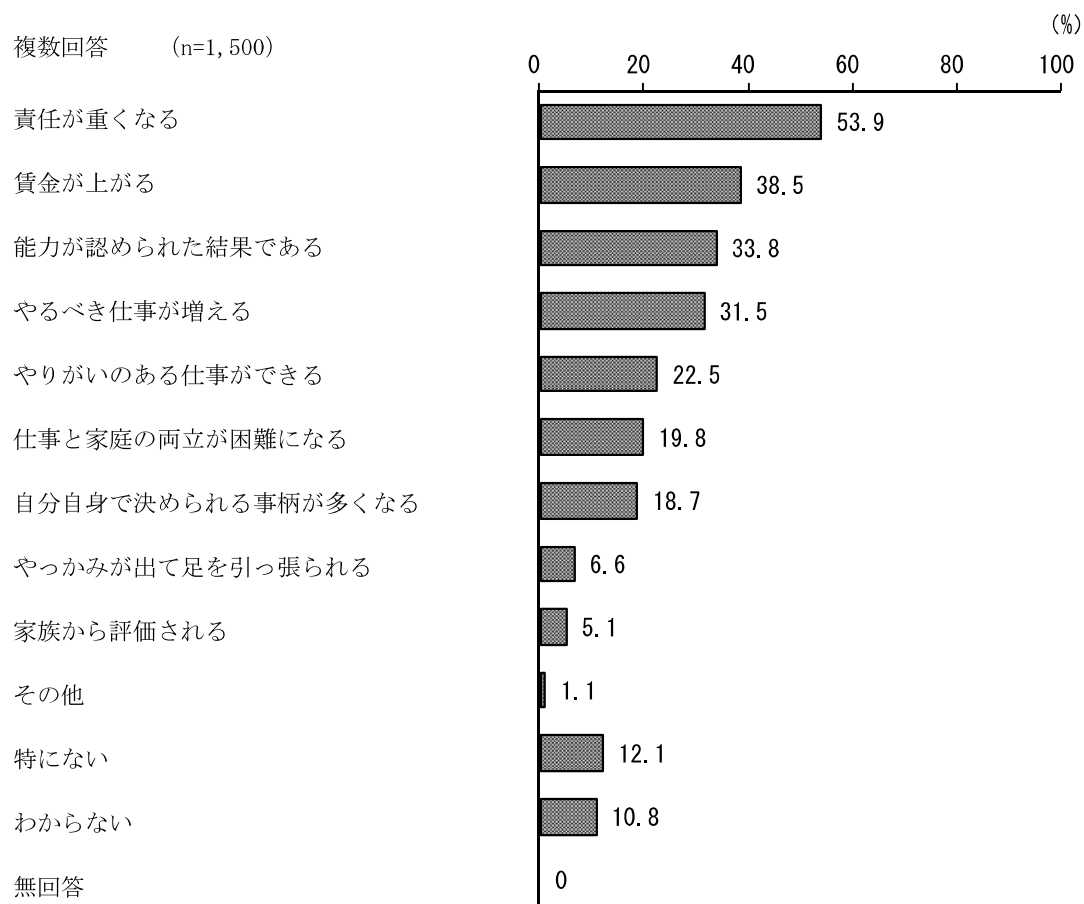
性/年齢別では、「勤務時間・勤務場所の条件が良い」「職場の雰囲気が良い」「性格・能力が適している」「育児や介護への理解や制度が整っている」は女性で高く、「専門知識が生かせる」は男性で高い。居住区別で特に目立った点は見られない。

2-2 管理職以上への昇進のイメージ

◎「責任が重くなる」が53.9%

Q 1 1. あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。

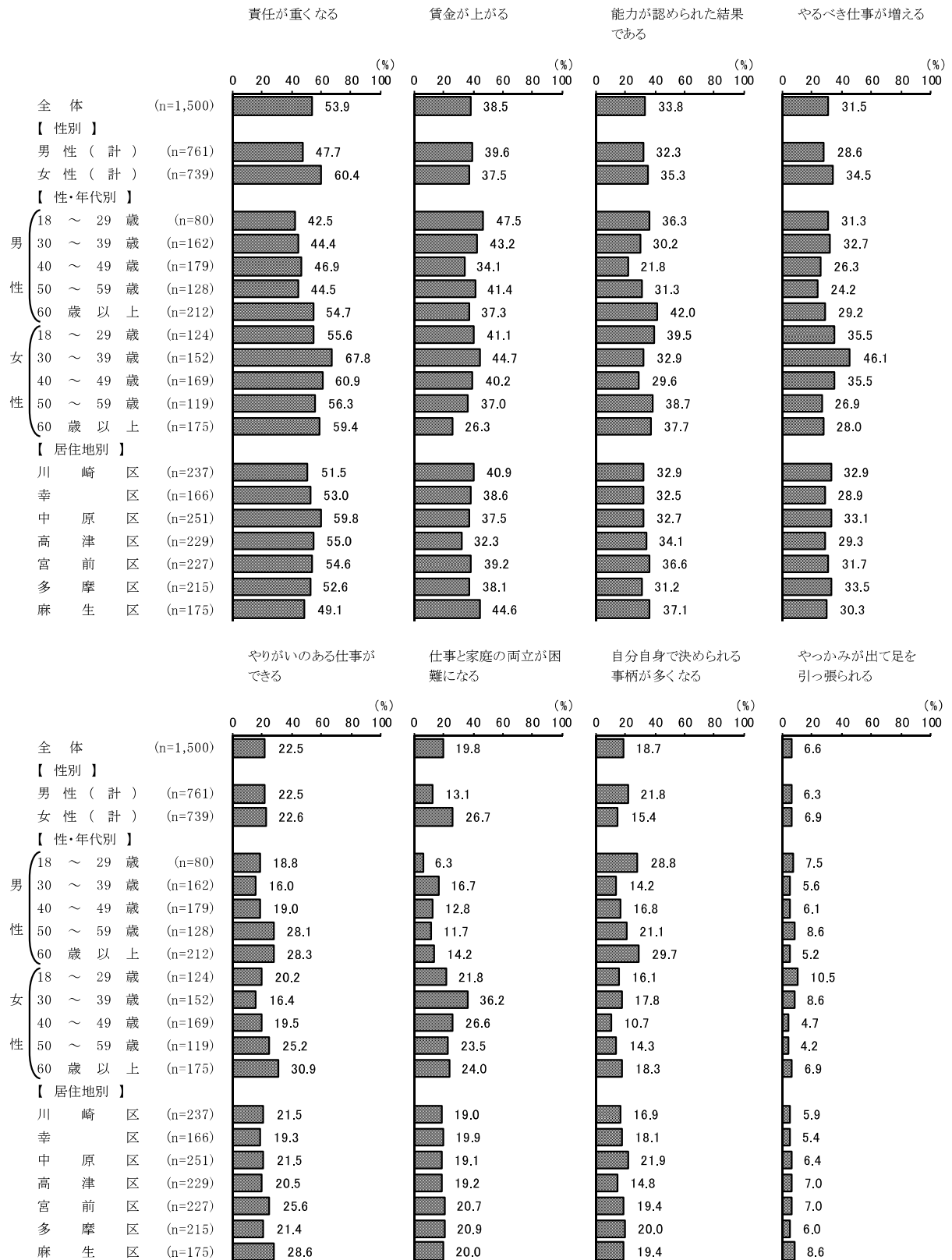
図表 2-3 管理職以上への昇進のイメージ



管理職以上への昇進のイメージは、「責任が重くなる」(53.9%)が最も高い。次いで、「賃金が上がる」(38.5%)、「能力が認められた結果である」(33.8%)、「やるべき仕事が増える」(31.5%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-4 管理職以上への昇進のイメージ(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



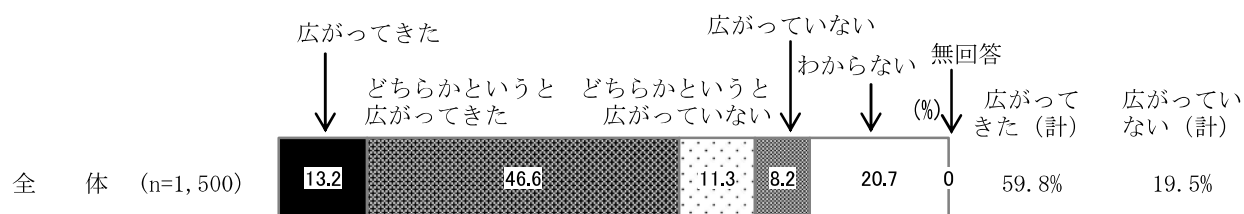
性/年齢別では、「責任が重くなる」「やるべき仕事が増える」「仕事と家庭の両立が困難になる」は、女性、特に 30～39 歳で高い。また、「自分自身で決められる事柄が多くなる」は、男性、特に 18～29 歳、60 歳以上で高い。

2－3 女性の活躍機会の広がり

◎「広がってきた（計）」が59.8%

Q 1 2. あなたはここ数年の間に働く場において、女性が活躍する機会が広がってきたと思いますか。

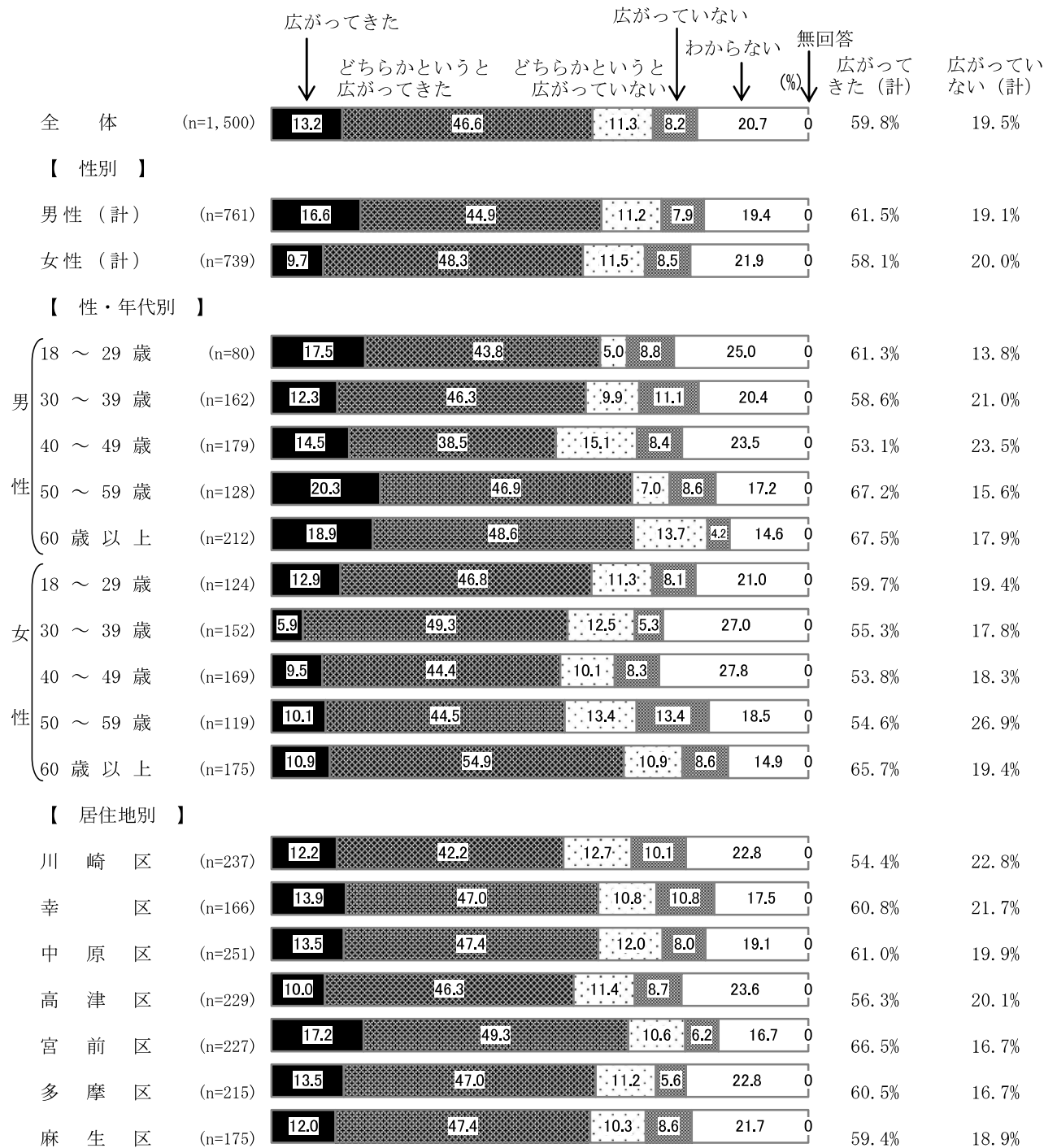
図表 2－5 女性の活躍機会の広がり



女性の活躍機会の広がりには、「広がってきた」(13.2%)、「どちらかというと広がってきた」(46.6%)を合わせた「広がってきた（計）」が59.8%であった。

(第1回アンケート)

図表2-6 女性の活躍機会の広がり(性/年齢別・居住区別)



性別では、「広がってきた(計)」では、男女で大きな差は見られないが、「広がってきた」では、女性(9.7%)は、男性(16.6%)に比べ低く、特に女性の30~39歳(5.9%)で低い。年齢別では、男女とも40~49歳で「広がってきた(計)」が低い。

居住区別では、宮前区で「広がってきた(計)」(66.5%)が高い。

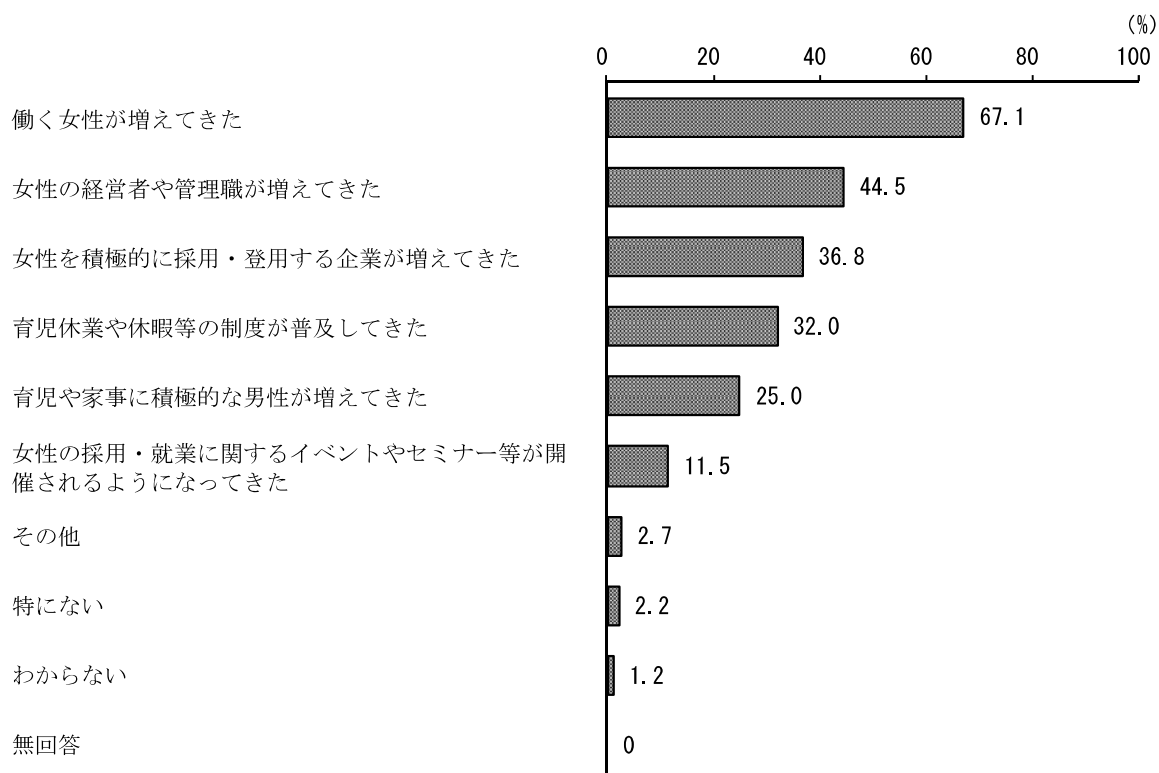
2-4 女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由

◎「働く女性が増えてきた」が67.1%

Q13. 働く場において、女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由は何ですか。

図表2-7 女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由

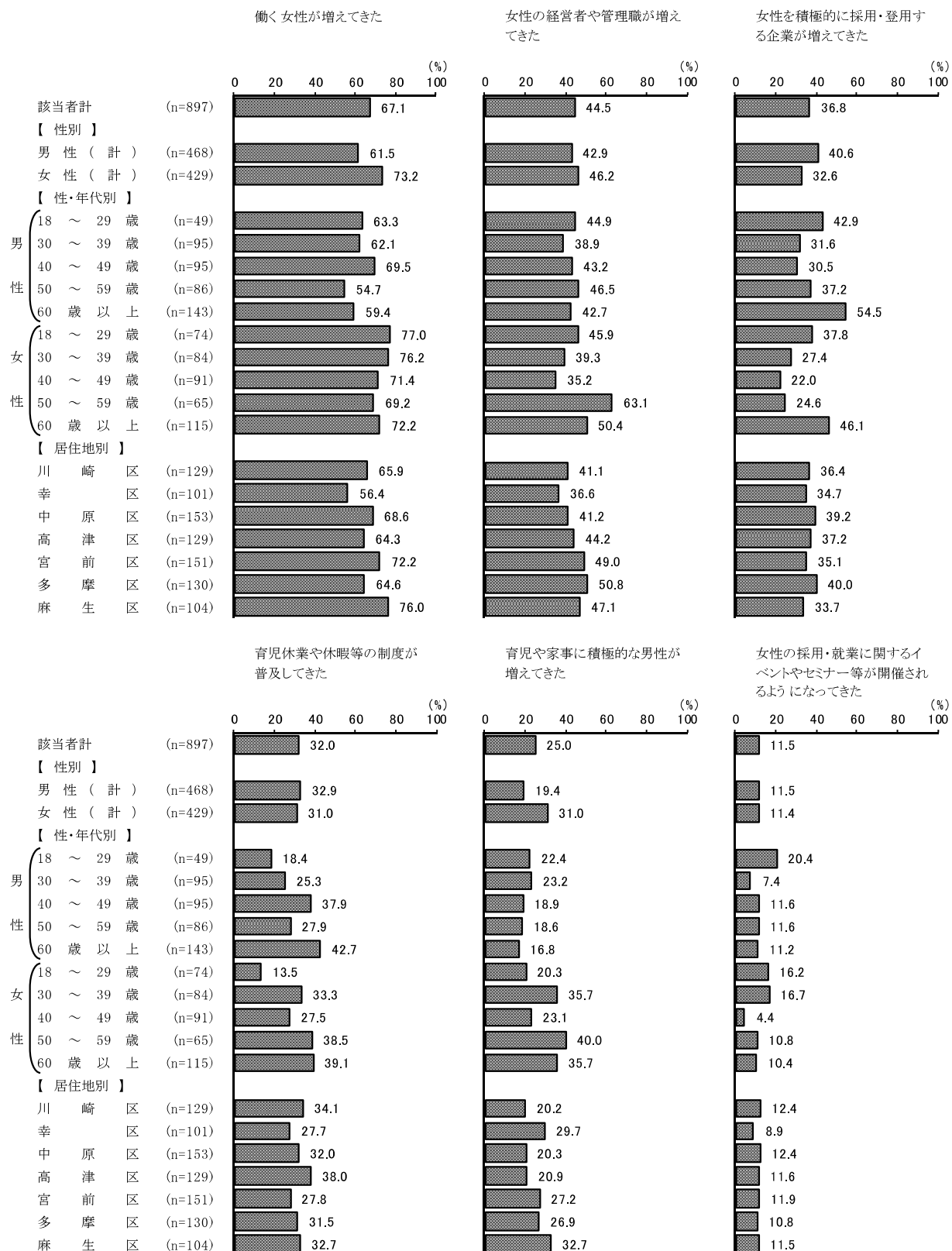
複数回答 該当者計：Q12で「広がってきた」「どちらかという広がってきた」いずれかに回答した方（n=897）



女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由は、「働く女性が増えてきた」（67.1%）が最も高い。次いで、「女性の経営者や管理職が増えてきた」（44.5%）、「女性を積極的に採用・登用する企業が増えてきた」（36.8%）、「育児休業や休暇等の制度が普及してきた」（32.0%）の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-8 女性が活躍する機会が広がってきたと思う理由(性/年齢別・居住区別 上位6項目)



性/年齢別では、「働く女性が増えてきた」は、女性（73.2%）で高く、「女性の経営者や管理職が増えてきた」は、女性の50～59歳（63.1%）で最も高い。「女性を積極的に採用・登用する企業が増えてきた」は、男女共に60歳以上で高い。「育児休業や休暇等の制度が普及してきた」は男女共に18～29歳で低い。居住区別では、「働く女性が増えてきた」は麻生区（76.0%）で高い。

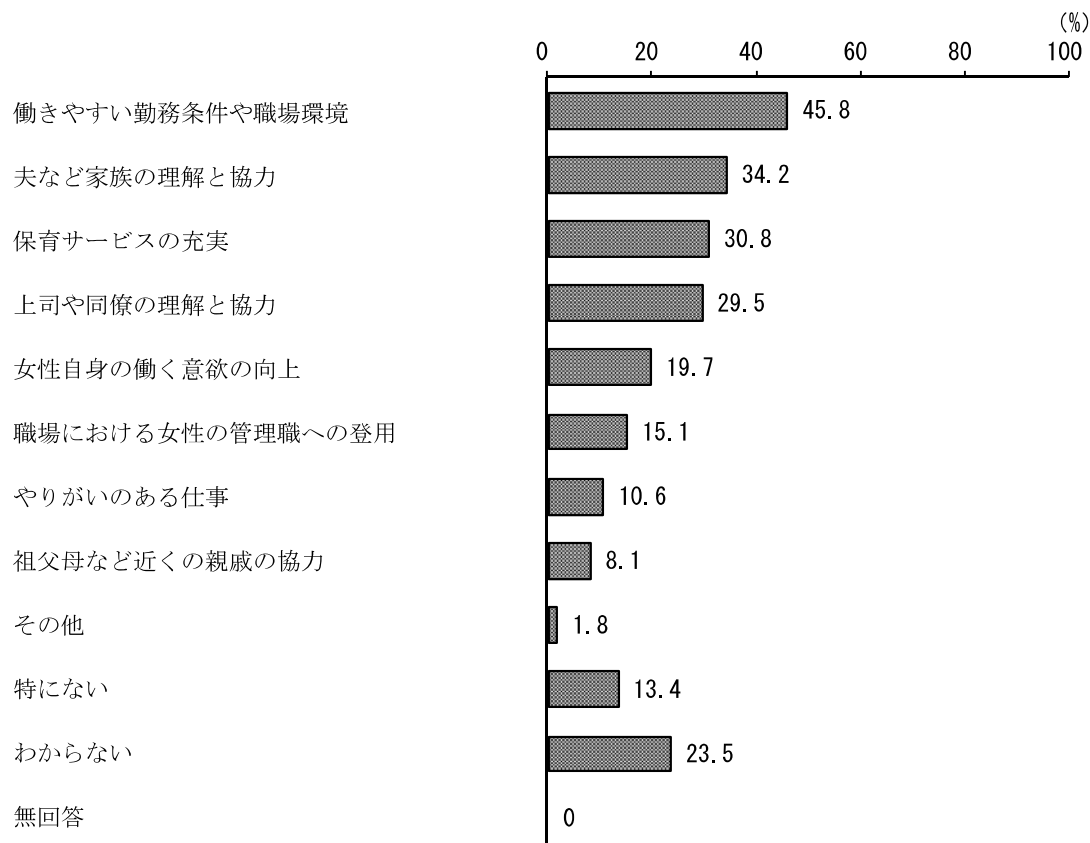
2-5 女性が活躍する機会が広がるために必要なこと

◎「働きやすい勤務条件や職場環境」が45.8%

Q14. 働く場において、女性が活躍する機会が広がるために必要なことは何だと思いますか。

図表2-9 女性が活躍する機会が広がるために必要なこと

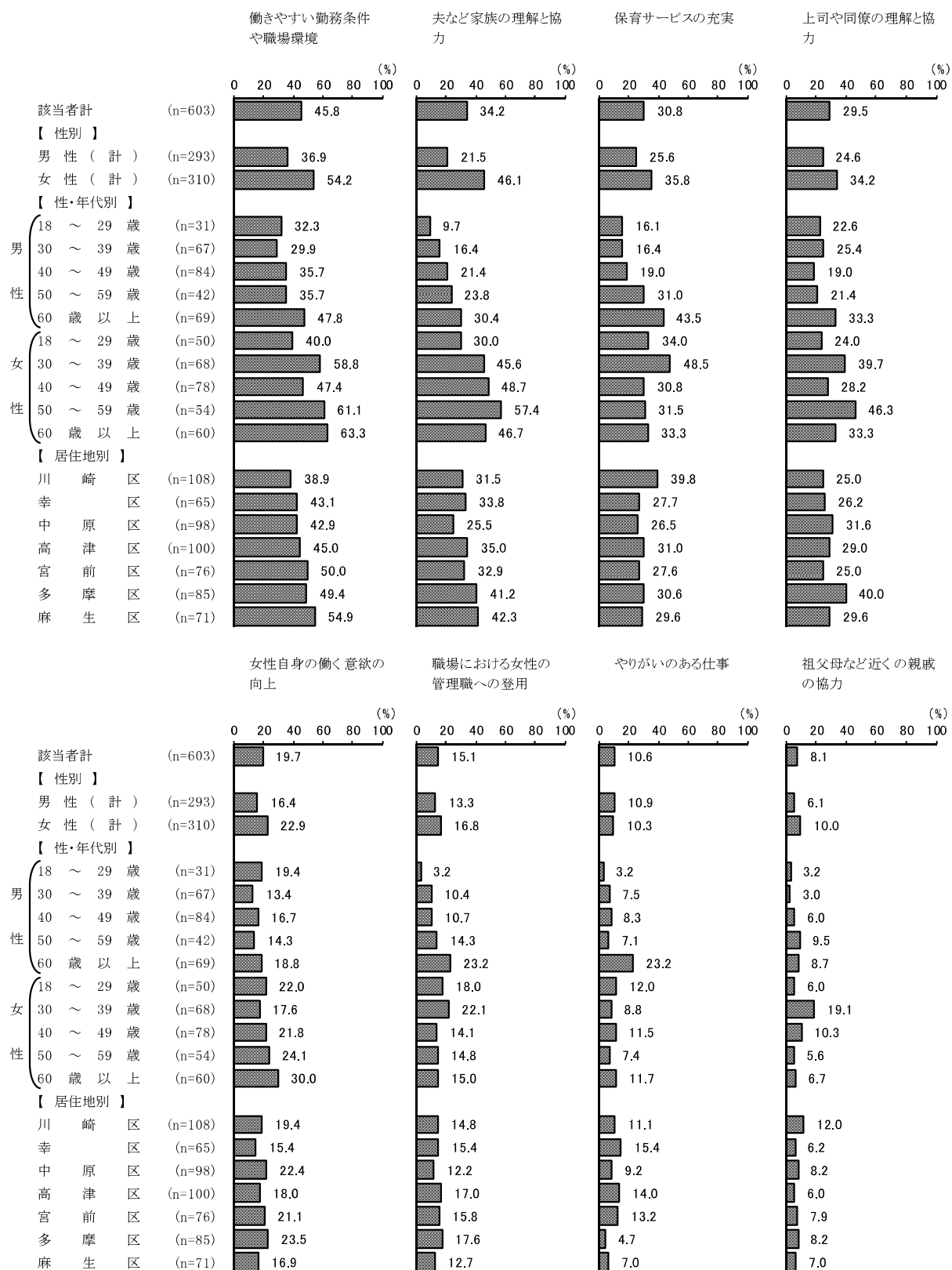
複数回答 該当者計：Q12 で「どちらかというとは広がっていない」「広がっていない」「わからない」のいずれかに回答した方 (n=603)



女性が活躍する機会が広がるために必要なことは、「働きやすい勤務条件や職場環境」(45.8%)が最も高い。次いで、「夫など家族の理解と協力」(34.2%)、「保育サービスの充実」(30.8%)、「上司や同僚の理解と協力」(29.5%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-10 女性が活躍する機会が広がるために必要なこと(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



性/年齢別では、「働きやすい勤務条件や職場環境」は女性の30~39歳、50歳以上で高い。「夫など家族の理解と協力」は女性の50~59歳(57.4%)で最も高い。「保育サービスの充実」は女性の30~39歳(48.5%)で最も高い。

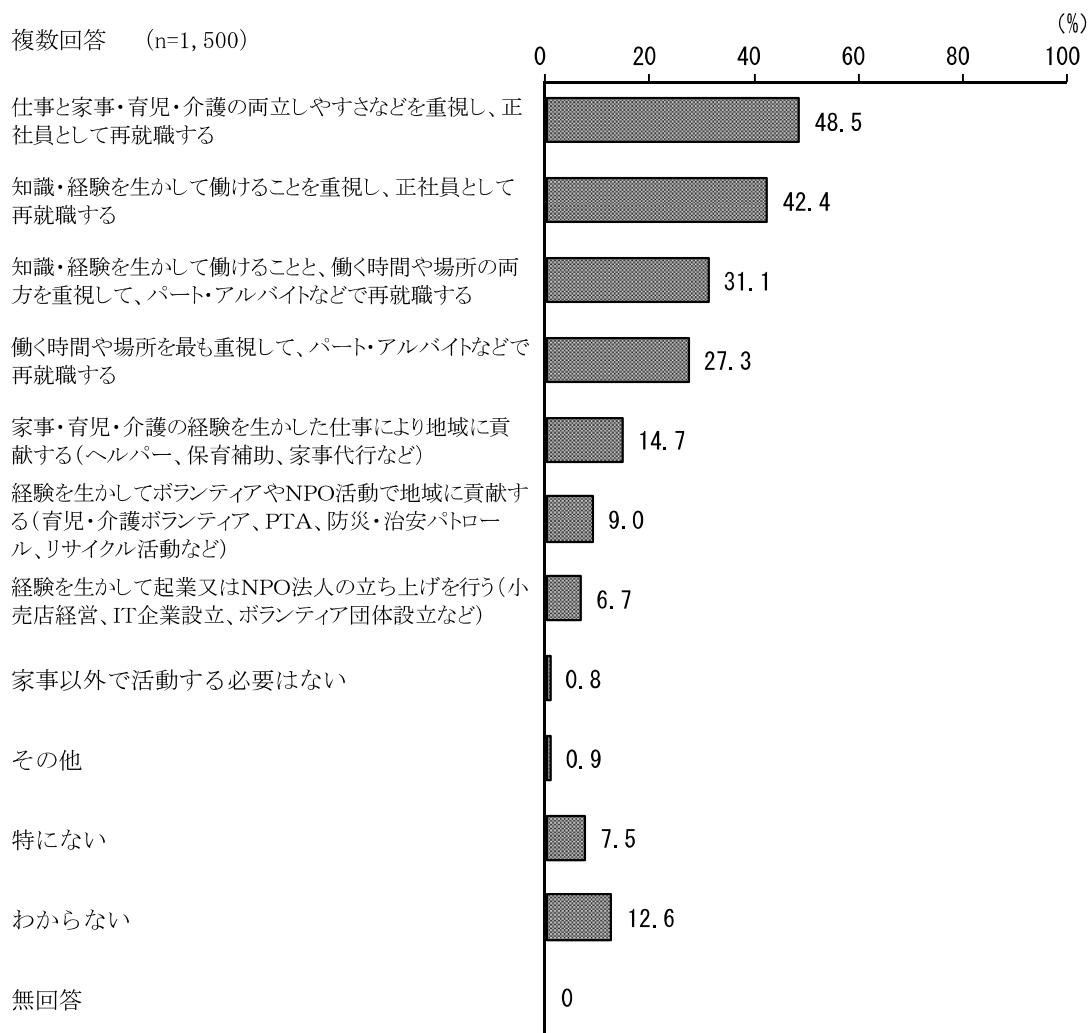
居住区別では、「保育サービスの充実」は川崎区(39.8%)で高く、「上司や同僚の理解と協力」は多摩区(40.0%)で高い。

2-6 女性の再就職の仕方としてよいと思うもの

◎「仕事と家事・育児・介護の両立しやすさなどを重視し、正社員として再就職する」が48.5%

Q15. いったん離職した女性が、再び社会で活動する仕方として、あなたがいいと思うものは何ですか。

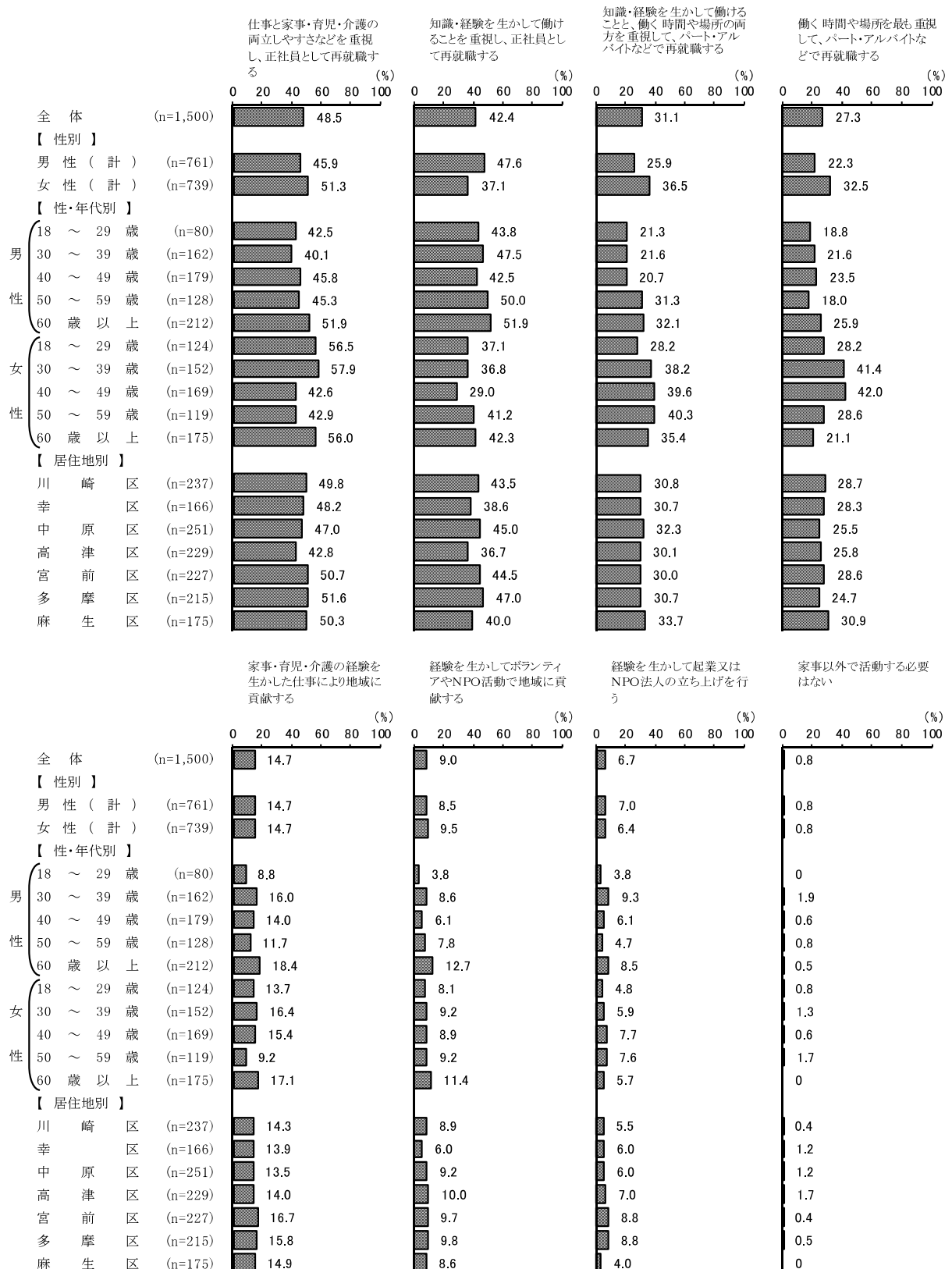
図表2-11 女性の再就職の仕方としてよいと思うもの



女性の再就職の仕方としてよいと思うものは、「仕事と家事・育児・介護の両立しやすさなどを重視し、正社員として再就職する」(48.5%)が最も高い。次いで、「知識・経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する」(42.4%)、「知識・経験を生かして働けることと、働く時間や場所の両方を重視して、パート・アルバイトなどで再就職する」(31.1%)、「働く時間や場所を最も重視して、パート・アルバイトなどで再就職する」(27.3%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-12 女性の再就職の仕方としてよいと思うもの(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



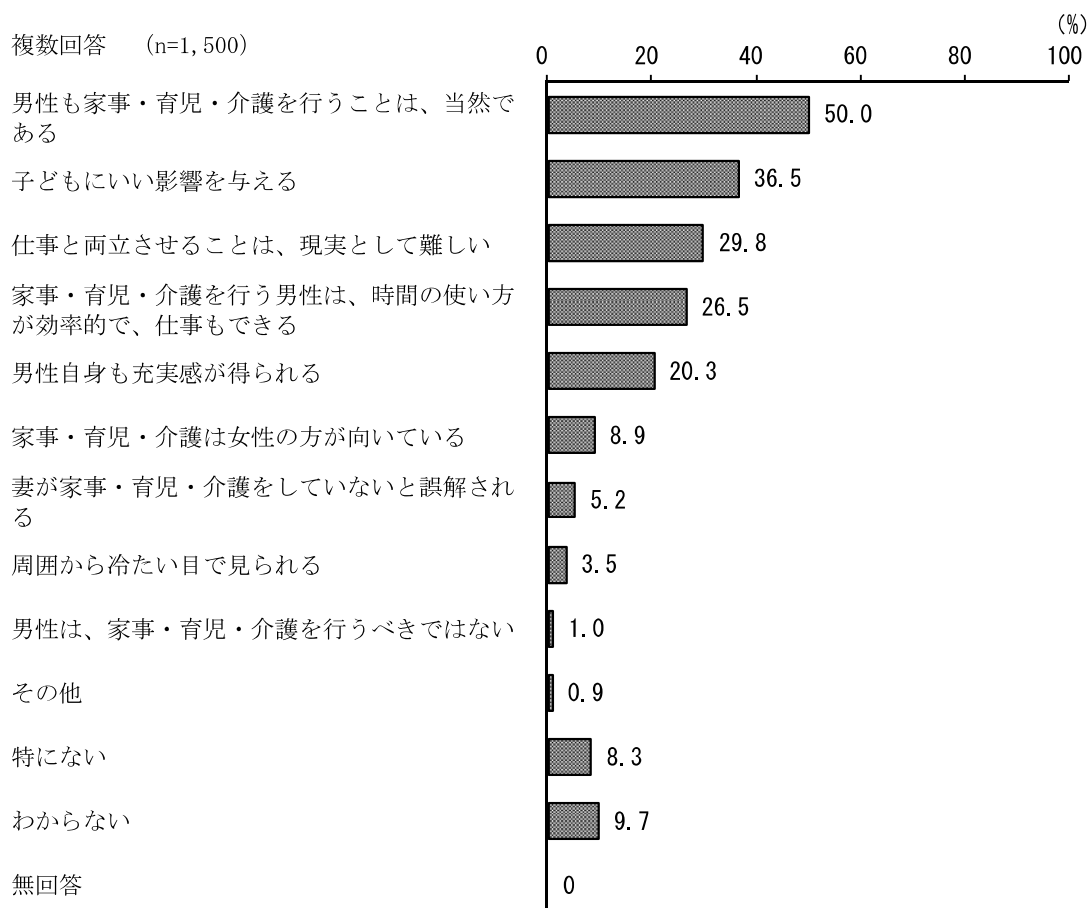
性/年齢別では、「仕事と家事・育児・介護の両立しやすさを重視し、正社員として再就職する」は、女性、特に18～29歳(56.5%)、30～39歳(57.9%)、60歳以上(56.0%)で高い。「知識・経験を生かして働けることを重視し、正社員として再就職する」は男性、特に男性の50～59歳(50.0%)、60歳以上(51.9%)で高い。居住区別で特に目立った点は見られない。

2-7 男性が家事・育児・介護を行うイメージ

◎「男性も家事・育児・介護を行うことは、当然である」が50.0%

Q16. あなたは、男性が家事・育児・介護を行うことについてどのようなイメージをお持ちですか。

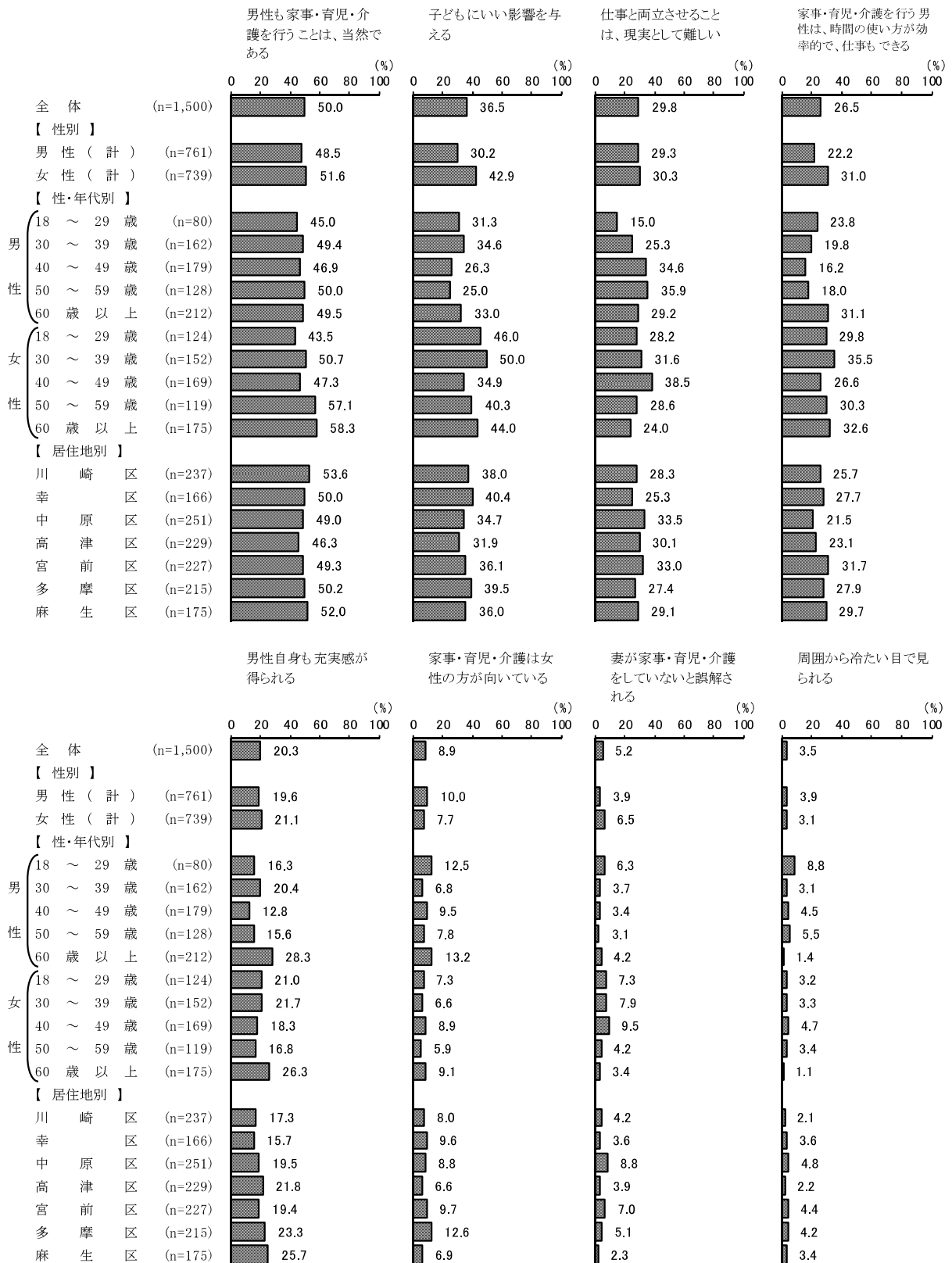
図表2-13 男性が家事・育児・介護を行うイメージ



男性が家事・育児・介護を行うイメージは、「男性も家事・育児・介護を行うことは、当然である」(50.0%)が最も高い。次いで、「子どもにいい影響を与える」(36.5%)、「仕事と両立させることは、現実として難しい」(29.8%)、「家事・育児・介護を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」(26.5%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-14 男性が家事・育児・介護を行うイメージ(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



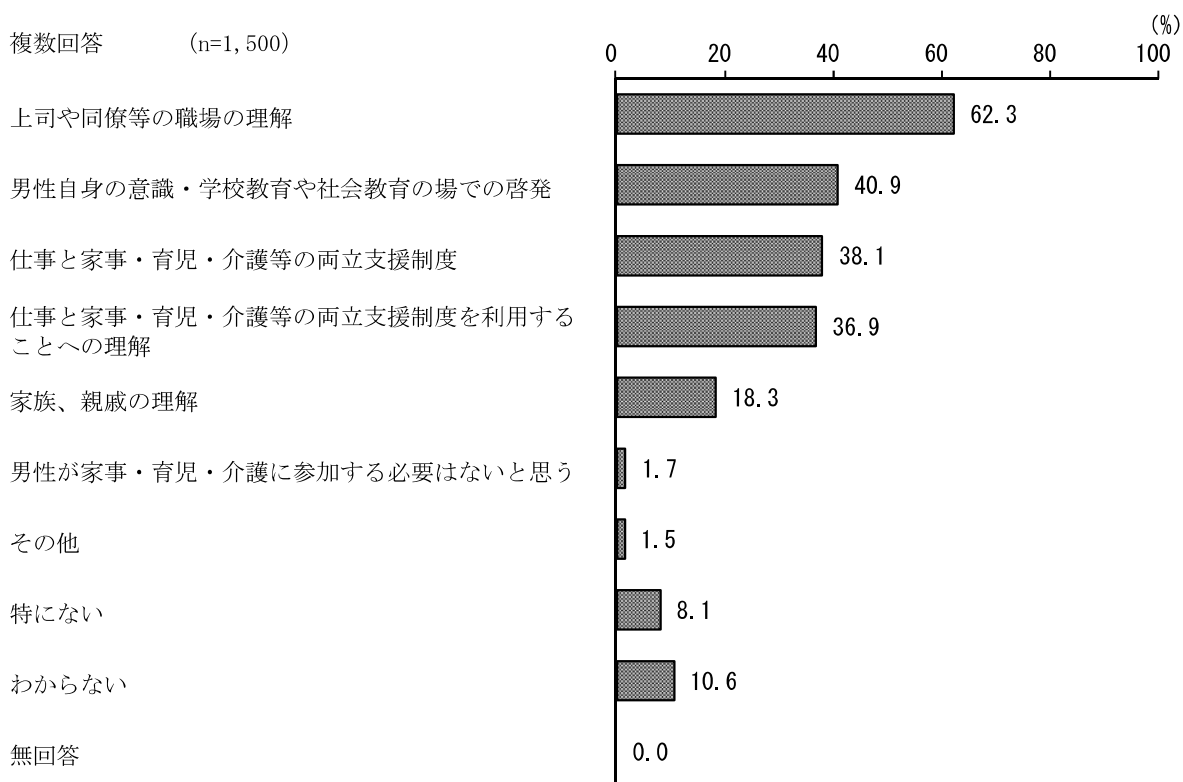
性/年齢別では、「男性も家事・育児・介護を行うことは、当然である」は、女性の60歳以上(58.3%)、男性の50～59歳(50.0%)で最も高い。「子どもにいい影響を与える」「家事・育児・介護を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」は、女性、特に30～39歳で高い。「仕事と両立させることは、現実として難しい」は女性の40～49歳(38.5%)、男性の50～59歳(35.9%)で最も高い。居住区別で特に目立った点は見られない。

2-8 男性が家事・育児・介護に参加するために必要なこと

◎「上司や同僚等の職場の理解」が62.3%

Q17. あなたは、男性が家事・育児・介護に積極的に参加していくために必要なことは何だと思いますか。

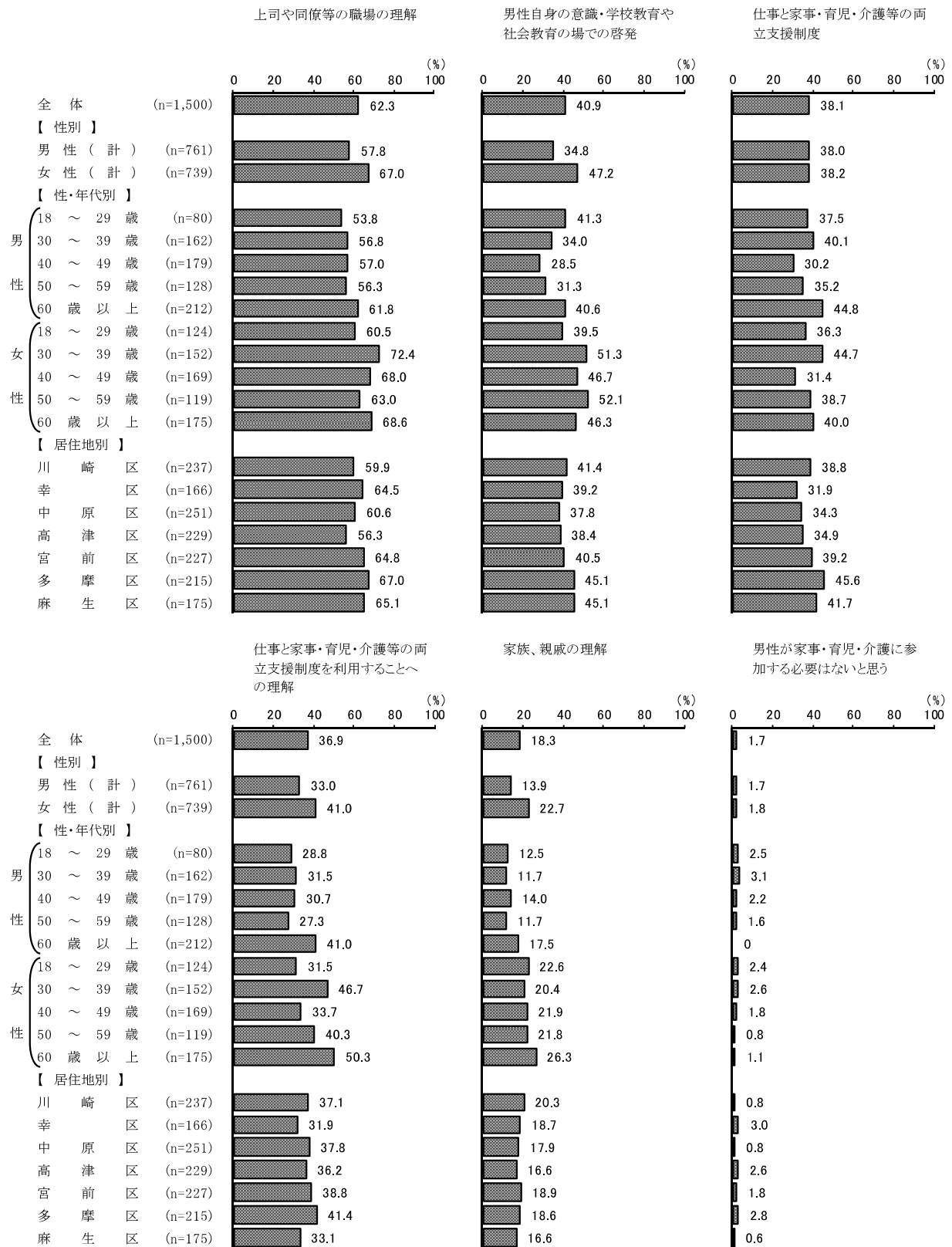
図表2-15 男性が家事・育児・介護に参加するために必要なこと



男性が家事・育児・介護に参加するために必要なことは、「上司や同僚等の職場の理解」(62.3%)が最も高い。次いで、「男性自身の意識・学校教育や社会教育の場での啓発」(40.9%)、「仕事と家事・育児・介護等の両立支援制度」(38.1%)、「仕事と家事・育児・介護等の両立支援制度を利用することへの理解」(36.9%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-16 男性が家事・育児・介護に参加するために必要なこと
(性／年齢別・居住区別 上位6項目)



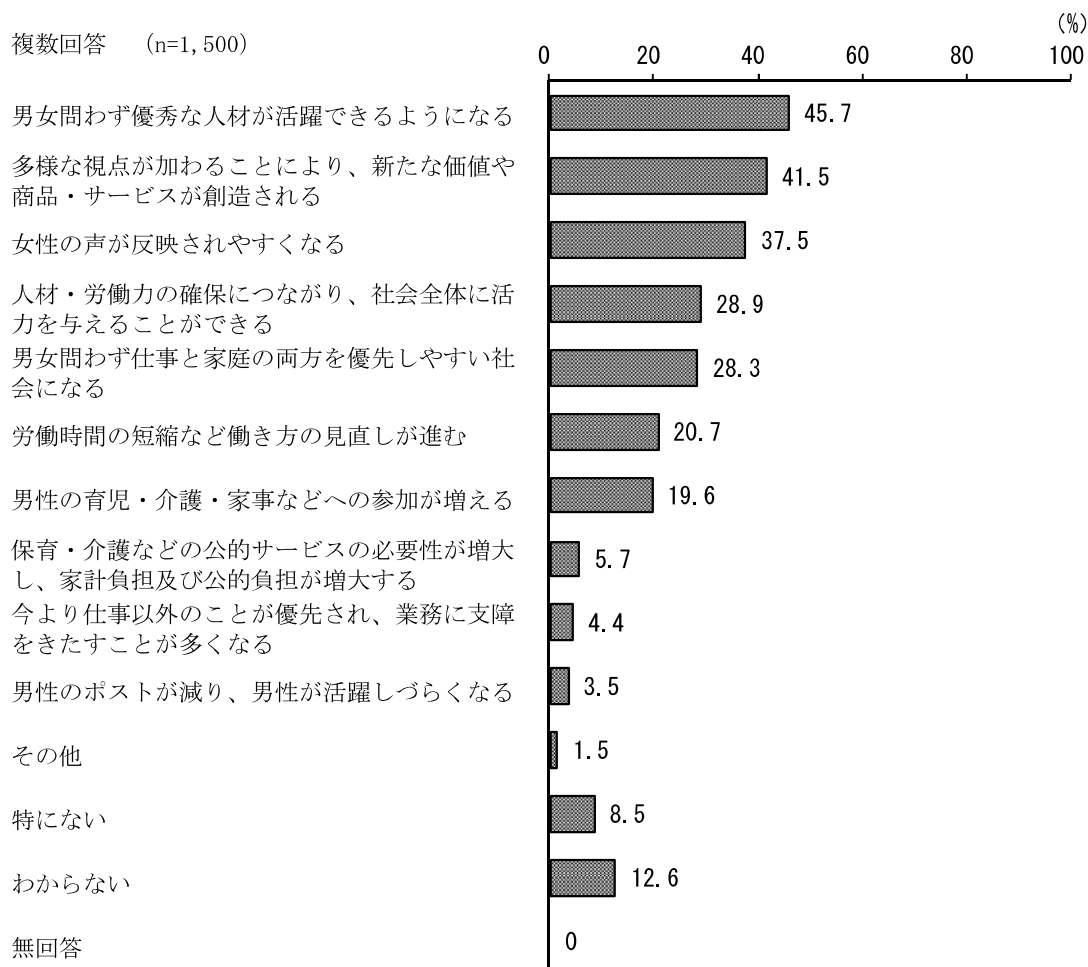
性／年齢別では、「上司や同僚等の職場の理解」は女性の30～39歳（72.4%）で高い。「男性自身の意識・学校教育や社会教育の場での啓発」は、女性、特に30～39歳（51.3%）と50～59歳（52.1%）で高い。「仕事と家事・育児・介護等の両立支援制度」は男性の60歳以上（44.8%）、女性の30～39歳（44.7%）で高い。

2-9 女性のリーダーが増えることの影響

◎「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」が45.7%

Q18. あなたは、政治・経済・地域における女性の参加が進み、女性のリーダーが増えるとどのような影響があると思いますか。

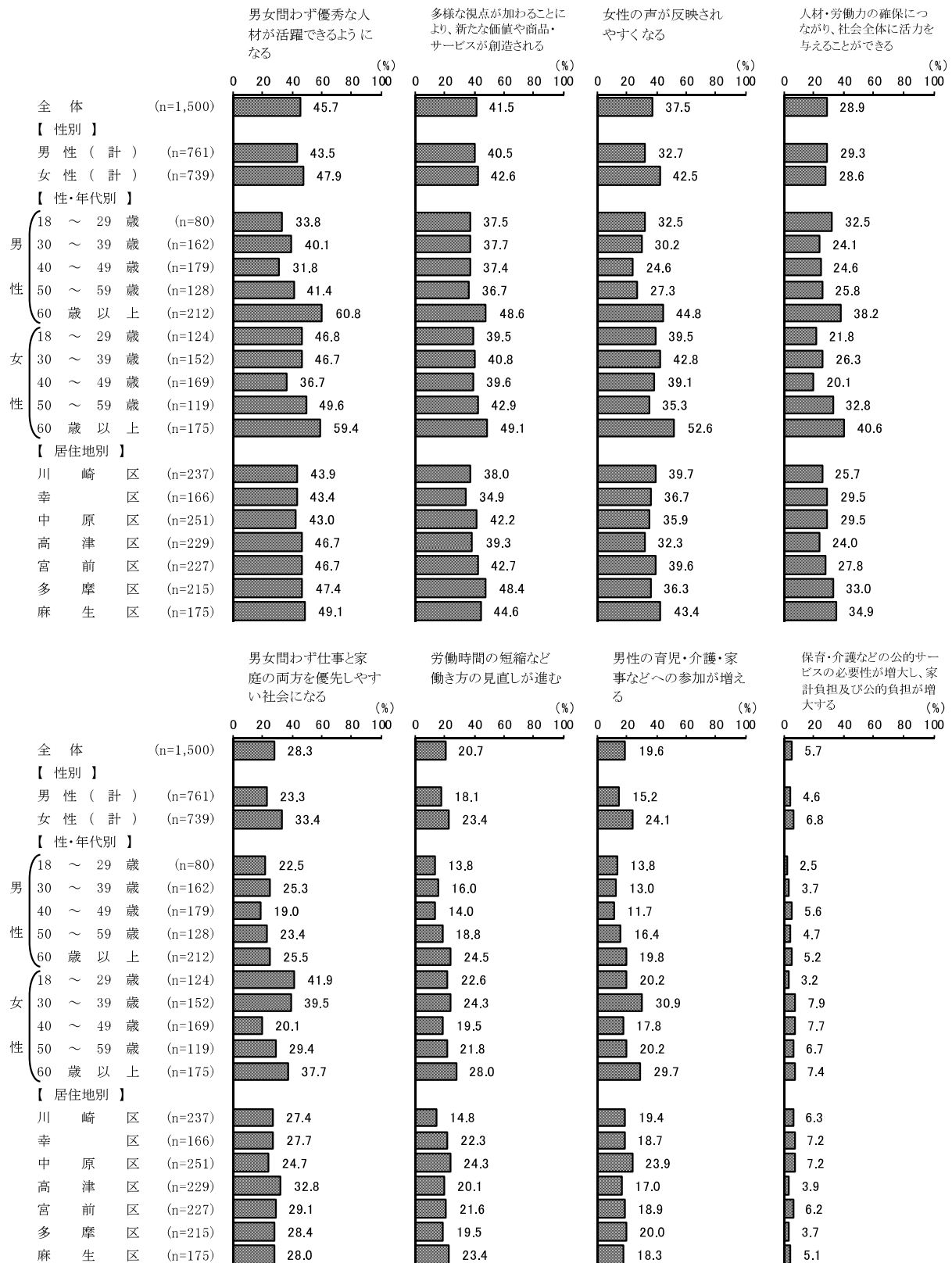
図表2-17 女性のリーダーが増えることの影響



女性のリーダーが増えることの影響は、「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」(45.7%)が最も高い。次いで、「多様な視点が加わることで、新たな価値や商品・サービスが創造される」(41.5%)、「女性の声が反映されやすくなる」(37.5%)の順となっている。

(第1回アンケート)

図表2-18 女性のリーダーが増えることの影響(性/年齢別・居住区別 上位8項目)



性/年齢別では、上位4項目の「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」「多様な視点が加わることで、新たな価値や商品・サービスが創造される」「女性の声が反映されやすくなる」「人材・労働力の確保につながり、社会全体に活力を与えることができる」で男女とも60歳以上の回答割合が高い。また、「男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる」では、女性の特に18～29歳(41.9%)、30～39歳(39.5%)、60歳以上(37.7%)で高い。居住区別で大きな違いは見られない。